

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

写楽 Tōshūsai Sharaku

2011.4.26.tue ~ 6.5.sun

開館時間：月～土 10時～18時 / 日 10時～16時 / 入館料 大人500円 / 中学生300円 / 小学生200円 / 小・中学生、高校生、障害者割引あり / 小学生の全額 / 中学生の半額は無料
※（1）は団体料金以上 / 吉原に在住する場合は上記の料金
主催：千葉市美術館 / アート・エッセンス / 日本経済新聞社 / 協賛：米岡大建築
特別協賛：Toshusai Sharaku 千葉市中央公民館・〒272-0185-2311(4F) <http://www.cma.or.jp>
千葉市美術館：Chiba City Museum of Art 〒272-0185-2311(4F) <http://www.cma.or.jp>



東洋文庫蔵《吉原の浮世》（東京国立博物館蔵）
Copyright © 2011 Museum of Fine Arts, Boston. All rights reserved.

The Golden Age of Color Prints: Ukiyo-e
from the Museum of Fine Arts,

Boston

ボストン美術館浮世絵名品展
錦絵の黄金時代

清長
Kiyonaga

Kitagawa Utamaro
歌麿



展覧会情報

主 催 = 千葉市美術館・ボストン美術館・日本経済新聞社 / 後 援 = 米国大使館
 特別協賛 = フィデリティ投信 / 協 賛 = 大日本印刷 / 協 力 = 日本航空
 会 期 = 2011年4月26日(火)～6月5日(日) 休 館 日 = 会期中無休
 会 場 = 千葉市美術館 8 階展示室
 開館時間 = 10:00-18:00 [毎週金・土曜日は 20:00 まで] * 入場受付は閉館の 30 分前まで
 観 覧 料 = 一般 1000 円 (800 円) / 大学生 700 円 (560 円)
 * 小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者 1 名は無料
 * () 内は、団体 20 名以上、および千葉市内在住 60 歳以の方の料金

展覧会概要

アメリカのボストン美術館は、世界有数の日本美術コレクションを所蔵する美術館として知られており、その質の高さ、膨大な作品数から、近年では「浮世絵の正倉院」とさえ通称されています。中でも浮世絵はコレクションの中心であり、5 万点にのぼる版画、7 百点以上の肉筆画、数千点の版本が含まれ、現在もなお調査整理が続けられています。またその過半は、1882 年から 8 年ほど日本に滞在したウィリアム・スタージス・ビゲローによって収集されたもので、現在日本では所蔵を確認することができない貴重な作品が多く含まれていることでも注目されます。

本展覧会は、ボストン美術館に所蔵される浮世絵の中でも、最も華やかに錦絵が展開した天明・寛政期（1781-1801）を取り上げ、鳥居清長（1752-1815）、喜多川歌麿（? -1806）、東洲斎写楽の名品を中心に、同時代の浮世絵師の作品を加えた 140 点を展示します。ボストン美術館の幅広い浮世絵コレクションだからこそ可能な、スター浮世絵師たしによる錦絵の華麗な競演をお楽しみください。



鳥居清長《「風流三ツの駒」貝駒》天明4(1784)年頃



東洲斎写楽《市川男女歳の奴一平》寛政6(1794)年5月

音声ガイド

浮世絵コレクターとしても知られる、歌舞伎役者の市川亀治郎さんによる音声ガイドがあります。
 ガイド数約 25 点+亀治郎の浮世絵こぼれ話 貸出料金：500 円

関連企画

■ 記念講演会 (往復葉書による申込制)

「蔦屋重三郎と歌麿・写楽」

5月1日(日) 14:00より(13:30開場) 11階講堂にて
 講師：田沢裕賀(東京国立博物館 絵画・彫刻室長)
 定員：150名 聴講無料 *申込締切 4月22日(金)

「ボストン美術館と浮世絵」

5月7日(土) 14:00より(13:30開場) 11階講堂にて
 講師：小林忠(千葉市美術館館長 学習院大学教授)
 定員：150名 聴講無料 *申込締切 4月28日(木)

「寛政年間浮世絵界絵図」

5月15日(日) 14:00より(13:30開場) 11階講堂にて
 講師：大久保純一(国立歴史民俗博物館教授)
 定員：150名 聴講無料 *申込締切 5月6日(金)



喜多川歌麿《虚無僧と美人》寛政5(1793)年

■ ボストン ジャズナイト@レストランかぼちゃわいん (往復葉書による申込制)

ボストン・パークリー音楽院出身のサクソ奏者徳田雄一郎氏(第6回千葉市芸術文化新人賞受賞)率いるメンバーのジャズ演奏を聞きながら、美術館11階のレストランでスペシャルディナーをお楽しみください。
 *お1人様2500円(お食事+ワンドリンク付)
 「ボストン美術館浮世絵名品展」入場チケットまたは千葉市美術館友の会会員証の提示が必要です。
 6月3日(金) 午後18:00より(17:30開場) 11階レストランかぼちゃわいんにて
 出演：徳田雄一郎(sax & vo)、山田貴子(piano)、三浦トオル(bass)、長谷川ガク(drums)
 定員：30名程度 *申込締切 5月23日(月)

【往復葉書による申込方法】

往復葉書に郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、参加希望の企画、人数を明記の上、下記までお送りください。応募多数の場合は抽選となります。(各2名までお申込可)
 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
 千葉市美術館 企画係

■ イブニング・スライド&レクチャー

夜間開館に合わせて担当学芸員が展覧会の見どころを解説します。
 4月29日(金)、5月13日(金)、5月27日(金)の17:00-18:00 9階講座室
 講師：田辺昌子(当館学芸員) *内容は各回とも同じです。

■ ギャラリートーク

担当学芸員による 4月27日(水) 14:00より
 ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日(4月27日を除く)
 *水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。

■ 美ナビー美術館まで“ナビ”ゲート

美術館まで約15分の道のりを美術館ボランティアがご案内します。(参加自由)
 5月15日(日) 11:00 千葉駅東口出発
 *ボランティアが目印の看板を持ってお待ちしています。

■ 美術館ボランティアスタッフによる多色摺ワークショップ「江戸を摺る！」

5月22日(日) 10:30-12:00、13:00-15:00 1階多目的スペースにて(参加無料)

■ 市民美術講座

「岡本秋暉と花鳥画」

5月21日(土) 14:00より 11階講堂にて
 講師：伊藤紫織(当館学芸員)
 先着150名様 聴講無料



東洲斎写楽《松本米三郎のけはい坂の少将、実はしのぶ》寛政6(1794)年5月

同時開催

「岡本秋暉とその師友」

2011年4月26日（火）～6月5日（日）

岡本秋暉(1807～62)は、中国人画家沈南蘋の画風を学んで、鳥、特に孔雀を得意としました。「1 江戸の南蘋派」「2 岡本秋暉」「3 谷文晁から鈴木鷺湖へ」の3部構成により、岡本秋暉とその師友の作品を展示します。

「ボストン美術館浮世絵名品展」(4月26～6月5日)をご観覧の方は無料

※岡本秋暉展のプレスリリースは、別に用意がございます



岡本秋暉《百花一瓶図》
19世紀 掬水軒記念文化振興財団蔵

次回展予告

「橋口五葉展」

2011年6月14日（火）～7月31日（日）

生誕130年と没後90年を記念し、橋口五葉(1881-1921)の全貌を改めて探る回顧展。油彩、水彩、素描、版画、絵葉書、装丁本など300余点により、明治の末から大正期を駆け抜けて早世した画人の、独自の美意識を検証します。

交通案内

千葉市美術館
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代)
<http://www.ccma-net.jp>

◎JR千葉駅東口より

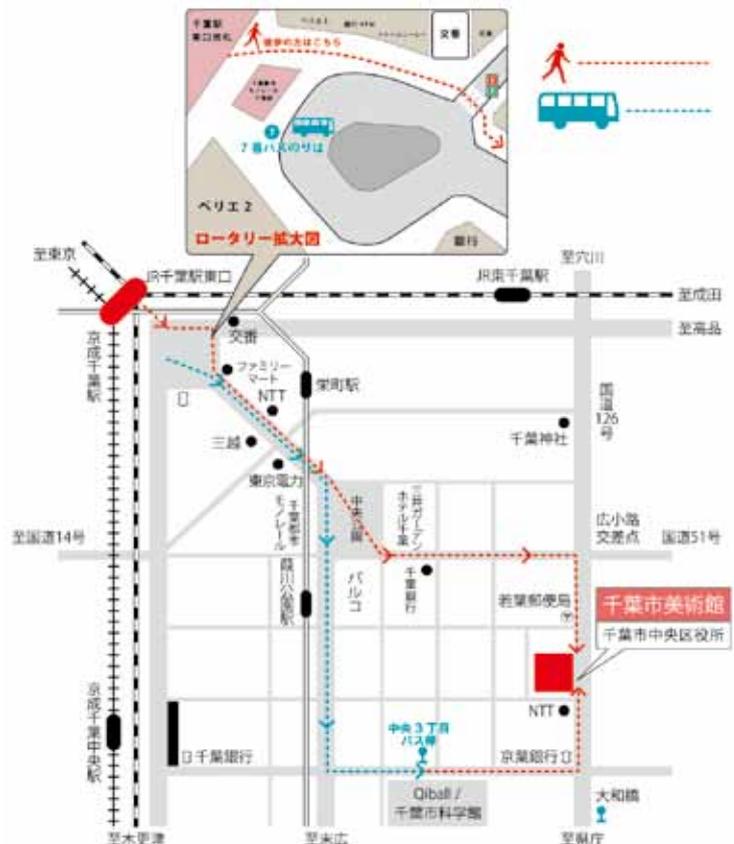
- ・徒歩約15分
- ・バスのりば⑦より大学病院行
または南矢作行にて
「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行
「葭川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



『ボストン美術館浮世絵名品展 錦絵の黄金時代 — 清長、歌麿、写楽』
ご紹介のお願い

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。
ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡下さい。
使用はお申し込みの通り1回限りとし、内容をご了承ください。



1. 鳥居清長
《「風流三ツの駒」貝駒》
天明4(1784)年頃



2. 鳥居清長
《五代目市川団十郎の横川寛範
三代目沢村宗十郎の狐忠信
中山富三郎の静御前》
天明4(1784)年



3. 喜多川歌麿
《虚無僧と美人》
寛政5(1793)年



4. 喜多川歌麿
《吉原仁和嘉 荻江松蔵 峯
いと》
寛政5(1793)年



5. 東洲斎写楽
《松本米三郎のけはい坂の
少将、実はしのぶ》
寛政6(1794)年5月



6. 東洲斎写楽
《市川男女蔵の奴一平》
寛政6(1794)年5月

『ボストン美術館浮世絵名品展 錦絵の黄金時代 — 清長、歌麿、写楽』 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名:	媒体名:
ご担当者:	発行日予定:
ご連絡先電話:	発行部数:
FAX:	定価:
Email:	掲載予定コーナー名等:
画像到着希望日: 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>(おおよそで結構です 例: 10cm 四方、など)</small> :

■ 画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

1. 鳥居清長 《「風流三ツの駒」貝駒》天明 4(1784)年頃
2. 鳥居清長 《五代目市川団十郎の横川寛範 三代目沢村宗十郎の狐忠信 中山富三郎の静御前》天明 4(1784)年
3. 喜多川歌麿 《虚無僧と美人》寛政 5(1793)年
4. 喜多川歌麿 《吉原仁和嘉 荻江松蔵 峯 いと》寛政 5(1793)年
5. 東洲斎写楽 《松本米三郎のけはい坂の少将、実はしのぶ》寛政 6(1794)年5月
6. 東洲斎写楽 《市川男女蔵の奴一平》寛政 6(1794)年5月

※ 全てボストン美術館蔵

※ 誌面に限りのある場合は、制作年を抜かしての記載も可能です。

※ 掲載の際には、作家名、作品名、所蔵先および下記クレジットを必ずご記載ください。

【必須クレジット】 Photograph © 2011 Museum of Fine Arts, Boston. All rights reserved.

■ プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5 組 10 名様 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先

ご住所:〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

E-mail: tanabe@ccma-net.jp (担当学芸員 田辺 昌子)

isono@ccma-net.jp (広報担当 磯野 愛)

Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>